

## 第1回 相原駅東口のまちづくりの検討会 会議要旨

場 所：堺市民センター・ホール

日 時：2013年11月26日(火曜日) 19時00分～21時00分

出席者：地 権 者 等：16名

町 田 市：地区街づくり課 吉原担当課長、高梨主任、森本主事、小島主事

コンサルタント：(株)計画技術研究所 須永、宮本、阿部

### <次第>

#### 1. 開会

- ・町田市挨拶
- ・事務局紹介
- ・相原駅周辺の街づくり方針について

#### 2. 今後の進め方

- (1)今年度の進め方
- (2)相原駅東口エリアの現況と課題
- (3)相原駅東口エリアの整備課題図
- (4)相原駅東口エリアの主要整備課題

#### 3. 次回日程等のお知らせ

### <配布資料>

- 資料1 相原駅周辺の街づくり方針
- 資料2 今年度の進め方
- 資料3 相原駅東口エリアの現況と課題
- 資料4 相原駅東口エリアの整備課題図
- 資料5 相原駅東口エリアの主要整備課題
- 参考資料1 相原駅周辺の都市計画・建築規制について

#### 1. 開会

##### 町田市挨拶

「相原駅周辺の街づくり」について、市はこれまで「相原駅の駅舎整備」や「40haの土地区画整理構想」など通じ、また、最近では、2011年度からの「相原みちまち推進会議」などにより、地域の方々とお話を重ねてまいりました。

今年度からは、「相原みちまち推進会議」で取りまとめられた、『街づくり方針』等を踏まえ、地権者の方々とお話を進め、「具体的対策」や「対応方針」を決めてまいります。

会の進め方としては、東口、西口を分け、それぞれの課題を再度確認いただいた後、検討を進め会としての具体案を取りまとめることが出来ればと思っています。

東口の課題は、一つは、町田街道の立体交差が完成すると、大戸方面から車で帰っ

て来たとき、東口へ入れなくなってしまう事があります。その対策として、新たな道路を東口に造る事が必要とされています。

もう一つは、東口の土地利用をどうするかです。

道路の事もさることながら、街の将来を考えると大切なのは、東口を将来へ向け、どの様にデザインするかです。

相原駅周辺は、これから、西口の駅前広場にバスが入り、相模原市とも幹線道路がつながります。近い将来には、町田街道が拡幅整備される。これから大きく街が変わろうとしています。

今回の検討は、相原駅東口のこの先数十年の「街のデザイン」を決めることとなります。横浜線の駅前と言う高い可能性を秘めた地域です、もう一度東口の街づくりを地域で考えてみる事が大切と思います。

町田街道の立体交差化事業は、地域へ大変大きな、そして多くの影響を及ぼすことが予測されます。

町田街道と東口を連絡するための新たな道路もその影響の一つですが、今回の検討では、将来の駅東側の土地利用を考え、また、新たな道路は地域の将来にとって一番使い良い位置は何処なのか、幅員はどうか、歩道は必要か等々、皆さんと一緒に考えさせていただきたいと市では考えています。

なお、西口の検討会(11/28)では、駅周辺の「土地利用計画」や「賑わい創り」などの課題に対する地元の答(案)を2014年度には、出していただくお願いをする予定です。どうぞ、よろしく願いいたします。

## ○事務局紹介

担当する市職員、本検討会運営支援を行うコンサルタントである(株)計画技術研究所が自己紹介を行いました。

## ○相原駅周辺の街づくり方針について(資料1)

「相原駅周辺の街づくり方針」は2012年度に相原駅周辺の居住者、地権者、市の協働により相原みちまち推進会議においてとりまとめられました。

方針は、「大きく変えるのではなく、現状の問題点を改善しながら進める街づくりとする」、「「みち」と「まち」をいつも一緒につくることを考える」、「残されている自然を大切にしながら、生活利便性の高いまちをつくる」、「鉄道、道路などによる地域分断を緩和するために、地元と行政が協力していく」の4点で構成されています。

## 2. 今後の進め方（資料2～5）

### 資料2 今年度の進め方

東口エリアにおいて今後街づくりの検討を行う目的、町田街道の立体交差化等の事業予定と合わせた街づくりの検討の進め方の案等について説明しました。

### 資料3 相原駅東口エリアの現況と課題

### 資料4 相原駅東口エリアの整備課題図

東口エリアの現況と課題を踏まえたうえで、2012年度に相原みちまち推進会議でとりまとめた「街づくり方針」等から整理した東口エリアの街づくりにおける整備課題を説明しました。

### 資料5 相原駅東口エリアの主要整備課題

資料4で示した整備課題のうち、東口エリアの主要整備課題として、東口アクセス路<sup>\*</sup>の検討、東口アクセス路沿道の土地利用の検討の2点を挙げ、東口アクセス路の検討から始めることを説明しました。

※目的地へ至る道路の意味。ここでは、町田街道が横浜線と立体交差することにより、必要となる、町田街道と相原駅東口駅前方向を結ぶ新たな道路計画のことです。

○2013年度の検討会は本日を含めて東口、西口毎に各3回開催します。

○2013年度は、「東口の土地利用」及び「アクセス路の位置・幅員等」の二点を主に検討します。

○第1回目の検討会では、今後土地利用やアクセス路の検討を行うにあたり、地区の課題の共有を行います。第2回目は「東口アクセス路(位置)の検討」、第3回目は「東口アクセス路沿道の土地利用の検討」を予定しています。

## <検討会での主なご意見>

### 相原駅周辺の将来について

(意見) 駅周辺の人口密度についての提案があったが、人口密度を上げたところで都市間競争にもまれて大規模な商業施設などはできない。大学生や住民の日常生活を支える商業施設が求められているのではないか。

(市の答え) 将来の土地利用を考えると、今のような低層利用が良いのか、あるいは高さは4から5階程度なのか、もっと高い方が良いのか等を景観、日照などを基にお考えになると思います。

一方で、相原駅周辺のお店は、主に駅周辺にお住まいの方(徒歩圏)の利用で成り立っています。毎日の生活で、歩いて行ける所にあるお店は大切ですので、それを維持し、より充実させるためには、一例として、ある程度の建物の建築が可能となることで、周辺の人口を増やすなどの視点も今回の検討では必要ではないか、との提案です。

(意見) 東口だけで人口密度を上げてもしかたがない。東口・西口を分断することがないようにまちづくりを考えてほしい。

(市の答え) 西口については、地権者の皆さんと駅前広場が整備された後の土地利用の検討を行います。また、東口についても今のままではなく、将来を見据えた土地利用の検討を行う必要があります。

なお今回の検討会では、駅の東西でそれぞれ取り組む課題が異なるため、分けて検討を進めますが、東と西の一体性を念頭において、検討を進めたいと考えています。

### 東口アクセス路等の検討について

(意見) 土地・建物所有者が東口アクセス路の位置を決めるのは難しい。条件を整理した上で、市が案を示してほしい。

(市の答え) 検討に必要となる前提条件や東口アクセス路の案については次回、出来るだけ分かり易いように工夫し、市の考えを提案します。

一方、土地利用については、皆さんが東口をどのような街にしたいか考えを聞かせてもらいたいと考えています。

(意見) 陽田川の上に道路を造ることも考えられるが、どうか。

(市の答え) 陽田川は、下水道計画上では都市下水路(雨水幹線)の位置付けとなっています。みなさんの考えを聞く必要がありますが、陽田川を暗きょ化(地下に埋設したり、ふたをかけた水路)し、地上部を道路にするということも出来なくはありません。

(意見) 東口アクセス路について自動車に関する内容が主だったと思うが、歩行者、車いすの移動などの視点が必要。

(市の答え) 相原駅周辺地区をはじめ、市内10地区についてバリアフリー基本構想が策定されています。(駅を中心に半径500mの範囲内が重点整備地区の候補に位置づけられています)。東口アクセス路の検討にあたっては、これらも踏まえていきます。

(意見) 転回路(資料5 3頁 転回路イメージ参照)による整備も有り得るのか。

(市の答え) 転回路では、東口にお住まいの方々にいかにも不便をおかけすると市では考えており、町田街道と駅東口方向を連絡する新しい道路(アクセス路)の整備を提案しています。転回路は駄目だと言うことではないので、転回路による整備も有り得ると考えています。

### 町田街道立体交差化事業について

(意見) 側道の相互通行の要望はどの様になったか。市から都へ強く要望して欲しい。

(意見) 町田街道と吉田橋間も拡幅が必要。

(市の答え) 側道の全てを相互通行にすると、側道の出入口の所で車が交差して危険なので難しいです。東京都も吉田橋への交差点から駅への交差点間の側道を相互通行にすることは、警察とも相談し検討する用意があると言っています。しかし、場合によっては、今の計画幅員より広くなる可能性があるかもしれません。

吉田橋のところについても、検討して行きたいと考えています。

(意見) 町田街道の立体交差化事業に伴い、歩道もアンダーパスになるが、東西方向の車いす等の移動についてもバリアフリーの観点から検討すべきではないか。エレベーターが必要ではないか。

(市の答え) 今の歩道は、踏切へ向かって登って、踏切から先で下る様になっているが、立体交差化における計画ではバリアフリー基準により、緩やかに下って登る計画になっています。次回検討会において、車いすの通行路についてご説明します。

### 検討スケジュールについて

(意見) 検討は既に十分行っている。進捗が遅い、早く計画の方向を出すべき。

(意見) 早く事業を進めるべきではないか。

(意見) これからのスケジュールはどうなっているのか。

(市の答え) 町田街道の立体交差完成に約10年かかるとすると、2017年には東口アクセス路の工事着手が必要です。そのためには、2014年度から2015年度中には、道路の案を取りまとめる必要があります。最終的には、市から地元へ道路位置等は提案をさせていただくことになると思いますが、この検討会でより多くの方にご理解いただける案を作ればと思っています。

## 相原駅周辺の街づくり方針について

(意見) 相原駅周辺の街づくり方針は誰がまとめたのか。

(市の答え) 「みちまち推進会議」で地元の方と市が、2011年から2年間相原駅周辺の街づくりについて検討し、その中で出た意見等を取りまとめたもので、法政大学の高見教授にコーディネーターをしていただいた。

(意見) 「街づくり方針」は抽象的な方針でわかりづらい。早く事業を進める必要があるのではないか。

(意見) 検討会での議論は相原駅周辺の街づくり方針にしばられるのか。

(市の答え) 「みちまち推進会議」は、もともと意思決定する場として作られていませんが、2年に及ぶ検討の成果ですので、市は尊重する立場です。また、市では「街づくり方針」について、この会の皆さんの意向をもう一度確認させていただきたいと考え、本日説明させていただいています。

そのため検討会の議論が「街づくり方針」に必ずしもしばられるものではないと理解しています。この会で検討した結果で異なる部分がある様なら、推進会議へ報告します。

### 3. 次会日程等のお知らせ

第2回検討会は、2014年1月29日（水）19時00分から堺市民センター・ホールにて開催を予定しています。